



ハッチョウトンボの国勢調査



6月5日、ハッチョウトンボの調査・観察を行いました。トンボに興味を持ち、保全の必要性や環境の違いでトンボがすみ分けしている事など、その特性を知ることで「環境と生物の関係性」を学ぶプログラムです。



調査

参加者はグループに分かれて、区切られた場所毎の個体数を数えました。

体の大きさは1円玉くらいと小さく、オスは赤色で目立ちますが、メスは草と同化する色合いなので最初は探すのが大変。また、オスとメスでは居場所が違う事も学びました。



国勢調査後には、1匹トンボを捕まえて虫眼鏡で観察してスケッチしたり、トンボの生態を学ぶクイズにもチャレンジ。

参加者からは、「ハッチョウトンボが生きるために色々な工夫をしているのがわかった」

「オス、メスのちがいが沢山あってすごい！」

などの感想をいただきました。

また、今回初めての試みでトヨタ白川郷自然学校とオンラインで繋げ、白川郷にすむトンボの特性についても知ることができました。

観察



生き物を実際にみて触れる事ができるのはとても貴重です。五感をフルに活用して自分が体験し得られた知識は残ります。自然の中で自然に学ぶ、トヨタの森ではこうしたプログラムを随時開催しています。